



ひづけ	
月 日	なまえ

もんだい

つぎの 文し^{こえ}ょうを、まず 声に 出して 読^よみましょう。
その 後^{あと}、もんだいに 答^{こた}えましょう。

夕方^{ゆうがた} 一休^{いっぎゆう}さんは おし^いょうさまに つれられて、

【じくさいさん】の 家^{いえ}に 出^いかけました。

じくさいさんの 家^{いえ}は 大きな おやしきで、やしきの 前^{まえ}に
小川^{おがわ}が ながれ、その 川^{かわ}にはしが かかって いました。

おし^いょうさまと 一休^{いっぎゆう}さんが その はしを わたろうと
すると、どうでしょう、つぎの ような 立^たてふだが 立^たって
いました。

この はし わたるな

(五十公野清一作「一休さん」より)

1 「一休さん」は、どこへ 出^いかけましたか。 文し^{こえ}ょうの 中^{なか}の

【 】に 書^かき入れましょう。

2 「一休さん」は、だれと 出^いかけましたか。

一休^{いっぎゆう}さんは、(おし^いょうさま)と 出^いかけました。

3 「その はし」は、何^{なに}を さして いますか。つぎから
えらびましょう。

ア やしきの 中^{なか}の はし

イ

やしきの 前^{まえ}の はし

ウ やしきから とおくに ある はし